

福岡県立山門高等学校



同窓会だより

2016.3.1
第19号

今年度入会者数 197名
同窓会員総数 23,174名

山門高等学校
創立 103周年

OBを迎える記念講演会

演題 「人々の健康のために～製薬会社の取り組み」

義務づけられない

も対応できるよう製品在
薬品の安定供給のため
ることが重要

会社 → 医療機関

医薬品の安定供給に対
応した課題も認識



平成27年 11月 10日(火)
於 山門高校体育館



▲ 山門高等学校 正門

山門高校 OBを迎えて

福岡県立山門高等学校103周年に当たり、同校のOBである松尾紀彦氏を迎え、講演会を開催しました。

生徒たちに製薬会社のしくみや働きをわかりやすく説明され、製薬会社の社会的使命や貢献について述べられ、仕事の奥深さについて語されました。

また、高校時代の生活や思い出から今後の高校生活のヒントをもらい、努力する事の大切さを学びました。

松尾先輩お忙しいところ貴重なお話をありがとうございました。

入学定員の削減続く
同窓会の健全運営に
ご協力を



山門高校同窓会
会長 板橋 元昭

明治45年（1912）に創立された山門高校は戦後昭和23年（1948）の学制改革により福岡県立山門高等学校となり、男女共学の普通高校として今日まで順調に発展してきました。

特に戦後のベビーブーム期の子供達が高校入学期に入つた昭和39年（1964）－昭和41年（1966）の入学定員は400名となり在校生数はピーク期を迎えました、その後毎年に定員削減が繰り返され昭和42年（1967）－平成元年（1989）360名、平成2年（1990）－同7年（1995）315名、同8年（1996）－同9年（1997）280名、同10年

(1998) - 同14年(2002)
240名、同15年(2003) -
同26年(2014) 200名そし
て今年平成27年(2015)は
160名となりピーケ期の40%の
定員となりました。

少子化社会の現況を鑑みれば止
むを得ない措置ではありますが、
一学年4クラス160名は高等学
校としての教育基盤を維持する最
低の生徒数と言わわれており、今以
上の定員削減や他校との合併問題
に連動する様なことは同窓会とし
ては断固容認できないところで
す。

ご承知の様に、同窓会の年間運
営費は遡ること35年前の昭和56年
(1981) 入学定員360名の
年に設けられた入学時に納付され
る同窓会入会金と在学中に納付さ
れる同窓会費により賄われていま
す。このことは入学生は生涯会費
の納付を在学中に済ませることで
あり卒業後は全員が同窓生である
ことを意味します。当時の永田茂
樹学校長の高邁な配慮「入会金の
用途は教育内容施設充実援助費に
三分の二、基本財産積立金に三分
の一とする」のお陰で同窓会は基
本財産の積立ができることとなり
平成14年(2002)には学校創
立90周年記念事業募金と併せた資
金で同窓会館「柏友館」の建設が
できました。

年（2001）には休眠状態だった福岡支部、関東支部の活動が再開され両地区に活動の拠点ができました、平成23年（2011）にはインターネット上に公式ホームページを開設し時宜を得た情報の提供に努めています。これら一連の活動は「会員相互の親睦と福祉並びに母校の発展に寄与すること」こそが同窓会の大きな目的だからです。

しかし今年度平成27年（2015）の入学定員は昭和56年（1981）の44%160名に削減されてしまい、在校生からの入会金と会費によって賄われている同窓会にとつて入学定員の減少は看過できない大問題であり、同窓会の活力を削ぎかねない重い課題を惹起しております。

課題の一つは平成14年（2002）以降基本財産積立金ができるない事であります、二つは事務局機能が停滞しないよう専任職員（パート）の配置が不可欠であるに拘わらず未だできていない事であります。

私は、同窓会入会金が設けられた昭和56年（1981）から35周年目にあたる今年を同窓会健全運営への転換の年として、二つの課題解決を目標に、同窓生の皆様に総会参加チケット購入費と全会員へ配付予定の会報「同窓会だより」の発行配付会費負担増へのご協力を、そして父母教師会の皆様には在校生が納付する同窓会費負担増へのご理解をお願いする次第であります。

楽しく伸びる山門

同窓会の皆様には、日頃から母校の教育の充実・振興に対しまして、格別の御支援・御協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

「学業・スポーツ・文化活動支援基金（A S C A 基金）」によつて、御支援につきましては、生徒の各方面にわたる活動及び職員の指導力向上研修等に活用させていただけ、生徒・職員の意欲の向上及び学校全体の活性化に繋がっています。また、総会時に表彰された生徒9名は、その栄誉を自信としてさらに活躍しています。

現在、本校生徒は「楽しく伸びる山門」をキヤッチフレーズに、学習や部活動、学校行事に意欲的に取り組むとともに、国や県が主催する「日本の次世代リーダー養成塾」や「ふくおか高校生の創造塾」等の研修にも他校生上回る多くの生徒が参加し、その成果を学校のリーダーとなつて發揮しています。

進学実績については、平成27卒業の三年生は、前年度に続き九州大学を含む国公立大学をはじめ、中央大学・同志社大学等の関東・関西の大学にも進学していくます。また、部活動においては、ざ

なりました。
今後とも母校への御支援・御協力を切にお願い申し上げますとともに、同窓会の益々の御発展を心

ドミニントン部が二年連続での全国大会出場を果たすとともに、本年度は国民体育大会において福岡県の高校生代表として荒木広夢・中里李之ペアがダブルスで出場し活躍しました。

行事面では、多くの同窓生の方々の御協力をいただいています。理数コースの東京研修では衆議院議員の藤丸敏氏による国會議事堂見学、清水建設リサーチフェローの壇一男氏による研究所見学及び日本航空株式会社運行訓練部長の矢加部康臣氏による講話、地域交流では福岡県議会議員の板橋聰氏による建設中の県立筑後広域公園プール（仮称）見学、創立記念講演では鳥居薬品株式会社取締役会長の松尾紀彦氏による講演など、各先輩方からの熱いメッセージをいただき生徒の一層の励みとなりました。

今後とも母校への御支援・御協力を切にお願い申し上げますとともに、同窓会の益々の御発展を心

楽しく伸びる山門



校長 山門 高校

ドミニントン部が二年連続での全国大会出場を果たすとともに、本年度は国民体育大会において福岡県の高校生代表として荒木広夢・中里李之ペアがダブルスで出場し活躍しました。

同窓会総会を振り返って思うこと

前年度実行委員長
平成五年卒 横尾 和博

まずは、昨年の同窓会総会を多数のみなさんの参加の下盛会裏に開催することができましたことを厚く御礼申し上げます。それもひとえに、ご協力いただいた多くの皆様方のおかげだと思つておりました。本当にご協力ありがとうございました。

当日の五月三日、早朝より雲行きがあやしかった。まず、雨がふつてくるだろう、そんな中本当に朝早くから準備のためにみんなは集まってくれるのだろうかと不安に思つていました。

そんな思いとは裏腹にほどなくして同窓会会館に同級生で一杯になつた時には鳥肌全開、興奮したのを今でも思い出します。



▲ 秋山 幸二 氏



そして総会も無事に終わり、元ソフトバンクホークス監督の秋山氏の講演になり、鬼橋さんとの軽快なトークで楽しめたのではないかでしょうか。

講演後半では、現役高校生が飛び入りで参加して大いに会場を沸かせてくれました。

三部の懇親会のイベントとして力強い女性太鼓を披露していたとき、会場を魅了してもらいました。そんな中でも会場の裏方としてしっかりと皆様方のご要望に応えるべく対応させていただいたのはないでしようか。

正直なぜこんなことをしなければならないのかと思つたりしました。が、一年をかけて準備をする中で芽生えてくる母校や同窓会への思い、そしてなりより終わつてからの何物にも代えがたい達成感と高揚感を得ることができました。これも同窓会会长をはじめとした。心の心で対応させていただきました。

する同窓生皆様方が培つてきた賜物だと感じました。この山門魂をわれわれも受け継いだようにまた次の世代がきつちり伝承していく益々同窓会が発展していくことを望むばかりです。

今後微力ではありますが同窓会の一員として協力していきたいと思います。最後に母校である山門高等学校、そして在校生みなさんとの益々の繁栄をご祈念いたしまして挨拶と致します。本当にありがとうございました。



アスカ基金表彰

略称「ASCA（アスカ）基金」により、平成26年度中に全国大会や全国レベルのコンペ等に出場した次の7部門の生徒たちを平成27年度同窓会総会にて表彰しました。



同窓会クラス役員

平成27年度卒業生
(平成28年3月卒業)

5組	4組	3組	2組	1組	男 子	女 子
田中晃太郎	大津卓弥	久保祐樹	伊原虎巴久	○奥田歩		
江口まゆ	島添彩加			○春山陽菜乃	藤木千恵	城戸琴糸

(◎は学年代表)

【問い合わせ先】
樋口(50年卒)
【会費】
2010(三七三)五七四六
男性 七千円 女性 六千円
夫婦 一万円

【問い合わせ先】
樋口(50年卒)
2010(三七三)五七四六

福岡山門会総会のご案内

【名称】 福岡山門会総会・懇親会
【日時】 平成27年4月9日(土)
午後1時受付 午後2時半開始
【場所】 天神スカイホール(博多大丸最上階)
【料金】 2年: 荒木広夢・中里李之・木元瑛介
1年: 山本ひかる・砂坂優太・坂田瑛輝 以上6名

<バドミントン部男子>

○平成26年度 全国総合体育大会 バドミントン競技
シングルス出場 2年 荒木広夢
○第33回 全日本ジュニアバドミントン選手権大会
ダブルス出場 2年 荒木広夢・中里李之
○第13回 日本バドミントンジュニアグランプリ 2014
ダブルス出場 2年 荒木広夢・中里李之
○全国高等学校選抜バドミントン競技大会
団体出場
2年: 荒木広夢・中里李之・木元瑛介
1年: 山本ひかる・砂坂優太・坂田瑛輝 以上6名

<放送弁論部>

○内閣総理大臣賞
第68回 全国高等学校弁論大会出場
3年 浦咲月
○第38回 全国高等学校総合文化祭
書道の部出場
3年 荒木駿之介
○第38回 全国高等学校総合文化祭
文芸の部出場
2年 下田ひな子

<書道部>

○第38回 全国高等学校総合文化祭
書道の部出場

3年 荒木駿之介

○第38回 全国高等学校総合文化祭
文芸の部出場

2年 下田ひな子

平成二十八年度 同窓会総会に向けて テーマ「再会～今この瞬間（とき）を～」

今年度実行委員長

平成六年卒 橋本憲之

今年の同窓会総会の幹事を担当させて頂くにあたり、平成六年卒業の同期生を代表いたしまして、誠に僭越ながら一言ご挨拶申し上げます。

私どもの同期生のほとんどが昭和50・51年生まれです。調べてみるとこの年は、山陽新幹線・岡山―博多間が開業し「昭和枯れすすき」が大ヒットした年にあたります。人生八〇年と考えますと、ちょうど折り返し地点にあたる今年、二万三千人を超える会員を有する同窓会の総会を幹事として担当する事となり、実行委員会一同、多くの不安要素に押し潰されそうになりますが、笑顔で握手ができる日を

進めているところです。



▲ 福澤朗（ふくざわ あきら）

プロフィール

1963年9月14日生まれ。東京都出身。
1988年早稲田大学第一文学部を卒業し、同年、日本
テレビに入社。「ジャストミート」「ファイバー」等の

流行語も生み出した。同局チーフ・アナウンサーを経てフリーアナウンサーに。
日本テレビアナウンサー時代のレギュラー番組（抜粋）
・アメリカ横断ウルトラクイズ
・高校生クイズ
・ブーンイン'朝!!

の言葉には含まれております。幹事を任せていただいたことにより、なつかしい友との再会があり、なつかしい恩師との再会もあります。ふと気づけば若かりし頃の自分自身との再会も果たしました。この山門高校で「笑い」「泣き」「迷い」「学んだ」三年間は、どれほど時が流れようとも、私たちを支える礎となり明日へと導いてくれています。もしも総会当日にその場所で会うことが叶わなくても、平成六年卒同期生は同じ想いを胸に、総会を成功させるべく、その瞬間（とき）とともに歩みたいと考えています。

地方創生の理念の一つ、地方・地域を活性化させる「ひと創生」のためのコミュニケーション術等をご教授いただきます。巧みな話術で引き込まれていくこと間違いないと確信しています。

結びになりますか 総会開催準備委員会 備にあたりご理解・ご協力いただ
きました、同窓会関係各位並びに山門高校職員の皆様方に感謝申上
げます。同期生一同「昭和枯れすすき」の二人のようにはならぬよ
う、粉骨碎身して準備し、当日は笑顔で皆様をお迎えする所存で
ございます。我々が大輪の花を咲
かせることができますように、皆
様お誘いあわせのうえ御出席くだ
さいますようお願い申し上げ、代
表挨拶とさせていただきます。

昨年度からスタートした山門高校の進路指導「夢発見プラン」は二年目を迎えました。一年生については、「自己の今までの生き方を踏まえ、現在社会で起こっている事象と自己をつなげ、これから のグローバル社会で生き抜くための進路選択の土台を築く」ことを目標として、新聞を読み意見交換をするNIE活動を取り入れています。二年生では、「自己の適性や様々な環境を考慮して真の第一希望を明確にし、そのためには必要な学習や活動ができる力を育み、

今後同窓会のみなさまのお力が必要となる進路指導の活動もあるかと思いますので、その際はご協力のほどよろしくお願ひいたします。

進路部より

進路指導主事 柿原
寿人

立大で、熊本大学・長崎大学・佐賀大学等五名の合格が決定し、私立大については、同志社大学・関西大学・西南学院大学・福岡大学等に合格を決めており、今後も朗報が期待されます。公務員について

志望理由書を書いて、とて最終的に「への橋渡しとする」ことを目標としています。日々の自己分析と情報収集とともに、すべての生徒が対して真剣に向き合う機会を設けております。三年生では、「真の第一希望を実現するための力を付ける」ために、一部の授業でクラスを編成しなおし、進路希望先ごとにグループニングして、小論文や面接および教科など一人ひとりに応じた指導を行つております。

さて、平成二十八年度入試が現在進行中ですが、今年は推薦・A・O入試で健闘しております。国公

A black and white photograph showing the exterior of a modern building, likely a library or office, featuring large glass windows and a minimalist design. In the foreground, there is a paved area and some trees.

▲ 同窓會館 柏友館

本年の会報19号は、平成5年卒の実行委員会で編集いたしました。快く寄稿していただいた感謝いたします。



平成 16 年度制定の 山門高校エンブレム